

地域子ども・子育て支援事業（令和7年度）の計画値・実績値一覧

事業名	単位	量の見込み (計画 A)	実績 (B)	差引 (B - A)	確保方策 (計画 ③)	確保方策 (実績)	備考
■ 就学前の教育・保育							
1号認定 (3歳以上・教育)	人	55	21	△34	35	35	需要は計画を下回るが受入枠は十分
2号認定 (3歳以上・保育)	人	694	656	△38	758	728	概ね充足
3号認定 (3歳未満・保育)	人	297	291	△6	324	317	概ね充足
■ 地域子ども・子育て支援事業							
地域子育て支援拠点事業	人日	13,858	—	—	5 か所	5 か所	5か所で運営
利用者支援事業	か所	2	7	+5	2	7	体制拡充
一時預かり事業 (幼稚園型)	人日	2,000	2,834	+834	2,000	2,000	需要超過 (+834)
一時預かり事業 (幼稚園型以外)	人日	400	157	△243	400	400	利用低位 (差引 +243)
病児保育事業	人日	20	5	△15	20	20	利用低位 (差引 +15)
放課後児童健全育成事業	人	629	594	△35	735	735	長期休業明けの途中退所傾向
妊婦健康診査 (対象人数)	人	180	238	+58	—	—	対象妊婦の一部を2か年でカウントのため増
妊婦健康診査 (健診回数)	回	2,000	1,771	△229	—	—	R7対象妊婦160人。1人あたり受診回数は適切、中断・未受診なし
乳児家庭全戸訪問事業	人	240	175	△65	—	—	対象乳児数減
養育支援訪問事業	人	30	17	△13	—	—	対象家庭少
子育て短期支援事業 (ショートステイ)	人日	40	4	△36	40	40	ニーズ低位
子育て世帯訪問支援事業	人日	200	46	△154	60	60	利用につながる家庭少
乳児等通園支援事業 R7.7月開始	人/月	53	39	△14	39	23	新規事業・立ち上げ期
妊婦等包括相談支援事業 (届出数)	件	200	160	△40	—	—	対象母数の減
妊婦等包括相談支援事業 (面談回数)	回	600	443	△157	—	—	対象母数の減
産後ケア事業	人日	200	88	△112	200	481	体制十分 (確保差 +281)

■ 計画超過・体制拡充 ■ 増加・体制十分 ■ 計画未満(△) ■ 概ね充足

「—」は該当データなし／対象外

令和7年度 総括と現状評価

- 就学前の教育・保育においては、全体的な需要は計画よりやや下振れ傾向ですが、2号・3号を中心に受入枠(確保方策)を概ね確保しており、地域ニーズに充足した体制が維持されています。
- 一時預かり(幼稚園型)においては、利用実績が計画を大きく上回る需要超過が発生。放課後児童クラブは年度当初は申込みが多いものの、長期休業明けの途中退所が増える傾向があります。

主な状況

- 一時預かり(幼稚園型):
実績が計画より **+834** 人日超過
- 放課後児童クラブ:
年度途中(長期休業明け)の退所増傾向
- 産後ケア事業:
体制確保は計画の約2.4倍

凡例・補足

■ 評価区分(カードの右上バッジ)

- 概ね充足 計画と実績がほぼ一致
- 需要超過 実績が計画を大きく上回る
- 利用低位 実績が計画を下回る

■ 用語の整理

量の見込み(計画): 令和7年度に必要と推計した利用量
実績: 令和7年度の実利用量
計画比 乖離(B-A): 実績と計画の差。△はマイナス
確保方策: 市が確保している受入体制量

1. 就学前の教育・保育サービス受入状況(令和7年度・淡路市)

1号認定 (3歳以上・教育)	利用低位	2号認定 (3歳以上・保育)	概ね充足	3号認定 (3歳未満・保育)	概ね充足
量の見込み(計画)	55人	量の見込み(計画)	694人	量の見込み(計画)	297人
実績(B)	21人	実績(B)	656人	実績(B)	291人
計画比 乖離(B-A)	△34人	計画比 乖離(B-A)	△38人	計画比 乖離(B-A)	△6人
確保方策(実績)	35人(計画35人)	確保方策(実績)	728人(計画758人)	確保方策(実績)	317人(計画324人)
※需要が当初計画を下回り、確保方策は需要を充足しています。		※計画を微減していますが、受入枠は適正に確保されています。		※ほぼ想定通りの需要で推移しており、枠も安定確保。	

2. 地域子ども・子育て支援事業における主要事業の乖離状況

一時預かり (幼稚園型)	需要超過	放課後児童クラブ	概ね充足	産後ケア事業	体制十分
量の見込み(計画)	2,000人日	量の見込み(計画)	629人	量の見込み(計画)	200人日
利用実績	2,834人日	利用実績	594人	利用実績	88人日
計画比 乖離	+834人日	計画比 乖離	△35人	計画比 乖離	△112人日
確保量(実績)	2,000人日(計画差 △834)	確保方策(体制)	735人(計画差 +141)	確保方策(実績)	481人日(計画差 +281)
背景: 1号認定子どもの長時間保育ニーズが高く、需要増加。		背景: 年度当初は申込増加するが、夏休み等の長期休業期間後に途中退所が増える傾向。		背景: 利用自体は計画を下回るものの、提供体制は計画の2倍超確保で万全。	

■ 計画を上回って拡充・利用された事業

一時預かり事業（幼稚園型）

需要超過

量の見込み（計画）	2,000人日	利用実績	2,834人日
計画比 乖離	+834人日	確保方策（実績）	2,000人日

背景:1号認定子どもの長時間保育ニーズ高による需要増加。確保方策（2,000人日）に対し利用実績が大きく超過しており、受入体制の追加検討が必要。

利用者支援事業

体制拡充

量の見込み（計画）	2か所	実績	7か所
計画比 乖離	+5か所	体制	計画の 3.5倍に拡充

背景:市内5か所の子育て学習センターを地域子育て相談機関の窓口としたため。

産後ケア事業（確保体制）

体制十分

確保方策（計画）	200人日	確保方策（実績）	481人日
計画比 差引	+281人日	利用実績	88人日（利用低位）

背景:令和7年度から県下広域利用が可能となり、受皿が拡充された。

妊婦健康診査（対象人数）

2か年カウント

量の見込み（計画）	180人	実績	238人
計画比 乖離	+58人	対象妊婦の一部を2か年でカウントのため実績が計画を上回る	

■ 計画を下回った事業（利用低位・ニーズ少）

放課後児童健全育成事業（学童保育）

途中退所傾向

量の見込み（計画）	629人	利用実績	594人
計画比 乖離	△35人	確保方策（実績）	735人

背景:年度当初の申込みは多いものの、長期休業（夏休み等）明けに途中退所が増える傾向。年度内の利用変動が大きい。

短期的・緊急対応型サービス（利用低位）

一時預かり事業（幼稚園型以外）	400 → 157 人日	△243
病児保育事業	20 → 5 人日	△15
子育て短期支援事業（ショートステイ）	40 → 4 人日	△36

訪問・相談支援系（対象母数の減）

乳児家庭全戸訪問事業	240 → 175 人	△65
養育支援訪問事業	30 → 17 人	△13
妊婦等包括相談支援事業（届出）	200 → 160 件	△40
妊婦等包括相談支援事業（面談）	600 → 443 回	△157
子育て世帯訪問支援事業	200 → 46 人日	△154

乳児等通園支援事業

R7.7月開始・立ち上げ期

量の見込み（計画）	53人/月	利用実績	39人/月	△14
令和7年7月開始の新規事業。確保方策（39人/月）に対し実績23人/月。立ち上げ期のため今後の利用動向を継続的に確認。				